

桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト 第2回コア会議議事録

日時：令和6年7月16日（火）14:30～16:45

会場：桐生市総合福祉センター103会議室

<参加者> 12名 + 社協実習生 1名 （別紙参加者名簿参照）

<司会> 菱風園 松井さん

1 挨拶：菱風園 松井さん

前回の意見をもとにサイズ変更、内容修正したもの、準備したものを詰めていく

2 配布資料確認：小川

今回連絡不備がありご迷惑をかけたため、皆さんの都合をつけていただけるよう、今後は日程だけでも先に連絡する。

3 議事

(1) 認知症ケアパス A4 版素案について

① 項目及び説明の文章 → 項目（ページ）ごとに説明後、議論していく

（ □枠内：項目 *印：検討内容 ・印：ご意見 ◎印：まとめ ）

・前回の意見を反映し、文字は14ポイントで作成している

表紙

*「認知症ケアパスとは」表紙にあってもよいか？表現方法はこれでよいか？

→ケアパスの言葉は載せるがメインではない。説明は別のページに記載。「ガイドブック」が受け入れやすいとの意見が多いが、桐生市・みどり市らしい、キャッチーなタイトルがあるとよい

*「桐生市・みどり市の方針」載せるか載せないか？

→「方針」は載せるが、表紙ではない。別のページに小さく載せる

- ・市民に配布するものなので説明は柔らかい方がよい。学術的だと理解しづらいかもしれない
- ・文字が多い印象を受ける。文字は少ない方が手に取ってもらいやすい
- ・ケアパスが何のことかわからないので、「認知症ケアパス」はあってもよい
- ・「方針」は必要だとは思いますが、表紙に載せなくてもよいのではないか
- ・第一印象でわかりやすい文章の方が読みやすい
- ・方針について、行政としてはどこかに小さく掲載されていればよい
- ・ケアパスが何なのかをわかってもらえる文章を入れる

◎表紙は、「イラスト」「タイトル」「ケアパス」を入れる。検索することを考慮し、ケアパスは表紙に残す。説明については別ページ（ケアパスの項目）に入れる

入り口となるものなので手に取りやすいものがよい

→思いついたキャッチコピーを、事務局までお願いします
(ケアパスを使ってこんな社会になるといいなと思うイメージ)

認知症の基礎知識 P1-2

*記載内容について

(病気の説明を入れるか入れないか → 入れない
症状の説明内容について

- ・診断目的ではないので、病気の説明はなくてよい
- ・生きにくさに焦点を当てると、症状の記載を多くした方がよい
- ・普段とどのように違うのかが気付けるもの
- ・認知症ともの忘れの違いが大切。市民の関心が高い

◎症状をクローズアップして掲載する (生活に密着した場面)

◎子ども向け認知症サポーター養成講座を参考に医療従事者の方々とも相談してすすめていく

チェックリスト P3

*エビデンスが必要なので、「公益社団法人 認知症の人と家族の会」のものを採用

- ・診断される前に手に取るもの
- ・チェック欄があると点数を気にするため、リストにするなら判断基準があったほうがよい
- ・チェック項目がなくてもよいなら、伊勢崎市のもの「家族と病院と地域で支える家族のための認知症 Q&A」を参考にするのもよい
- ・生活上の困り具合で判断するため点数は目安と考えた方がよい
- ・言葉は柔らかい表現で、まずは相談につながるように、仕掛けづくりする
- ・本人の状態も自覚も確認できるので、治療方針、診断にも使えるものになるのではないかな

◎このまま使ってみて、枕言葉やつながりを工夫し負担感を軽減するようなものを作り込む

フローチャート P4 (松戸市概要版上部のものを参考に作成)

*桐生市・みどり市の特徴を入れて作成 ①医療機関へつなぐ ②本人視点 ③周囲の人の視点と、専門職の連携状況を示すものではなく、相談のしやすさに重点をおいた相談ルートを示すもの (後々関わる専門職につながるまで)

- ・専門職につながるまでの相談
- ・初期の相談をどこにすればよいか → 家族、友人、民生委員経由での初期相談が多い
- ・認知症疾患医療センター受診は、家族からの直接連絡ケースが多い
- ・相談窓口の中心はどこになるのか
- ・相談窓口はひとつで、そこから選べるようなイメージ
- ・迷っている人にとっては、どこを選択したらよいのかがわからないので、「迷ったらここへ」の言葉を入れる

- ・「どこに相談いただいてもきちんとお話しお聴きします」は入れなくてもよいのでは？（場合によっては話しを聞いてもらえない時もある）

◎窓口の位置、相談窓口の中心はどこか、大きさはどうかについて、実態に即してわかりやすいもの、見せ方の修正をする

認知症ケアパス P5-6 （松戸市を参考）

- * ケアパスメインページとなる。前回サービスにつながっている中期以降は少し残してある
- 「初期」は基礎知識と連動、「症状」はアルツハイマー型認知症の代表的なものを記載
- 項目は、ブロック型で表示、タイトル（中項目）はサービス名、事業名は避けたい
- ・表紙に記載された「認知症ケアパスとは」をここに入れる
- ・見開きにするので、記載の工夫 → 初期の時期を1ページ使い記載してみてもどうか

◎社会資源集を別冊で作成し、QRコードで読み込めるようにする。項目を入れて作成し、過不足を修正する

早期受診・早期診断のススメ P7 （前橋市を参考）

- * 受診干渉のページとなる。修正後、Dr.高橋 Dr.前川へ報告し助言をいただく予定
- 認知症サポート医の紹介（県のホームページ）を入れる
- ・まずは受診だが、本人が受診できないときは、家族だけでも相談することをすすめる言葉を入れる（本人が受診拒否するケースは多い）

受診時のポイント P8

- * 受診のポイント、メモ欄についてご意見いただきたい。
- ・1行目に記入例があるとイメージがしやすい
- ・本人、家族の困ったこと、不安なことなどのエピソード等、普段の様子が記入できるとよい。
- ・受診へのためらいをとるポイント、どうしても受診出来ない時や、拒否した時の対処法があるとよい

◎受診時のポイント「時間」の欄は○印でチェックできて書きやすいようにする

◎ページ構成について、重きをどこに置くのかを考えると「チェックリスト」→「早期受診のススメ」→「ケアパス」の順の方が流れ的によいので、そのように入れ替えする

◎家族目線でのメッセージを入れる

◎受診につながらない時の相談場所ももりこむ

認知症の症状とまわりの人が心がけること P9-10 （千代田区を参考）

認知症の人への接し方のポイント P11 （認知症サポーター養成講座からの抜粋）

- * 前回 A4 版のものは前のページに載せていたが、後のページにした理由は？

→時系列でいくと初めに載せるのだが、重要視したいところを、わかりやすく載せることを考え
最後に予防を載せている

◎「当事者も使えるツール」→「接する側が困った時にみられるリンク」→「予防」の流れが構成
のポイントとなっている。認知症サポーター養成講座教材から抜粋の7つの項目はしっかりく
る

◎全ページ表現を統一し似た印象にする

→気づいたこと、ご意見は、随時事務局へ連絡をする

予防について P12

*水戸市ケアパスを参照したが、シンプルすぎたため、具体例を入れてみている

◎今日のご意見を盛り込んだものを、医療職（認知症認定看護師）に確認してもらい、意見をも
らい、整理していく

→予定外であるが、全体会議を行いたい。後日日程調整を行う

桐生市・みどり市の認知症について相談窓口 P13-14

*中央部分が切れてしまうため、見開き部分の調整が必要

*位置関係が分かるよう記載方法を工夫する

本人の声

*キャッチコピーを入れたい

*方針をここに入れる … 方針かメッセージか

*表紙に発行（桐生市・みどり市・医師会）と裏表紙に制作（ケアパス作成プロジェクトチーム）
を掲載

② イメージカラー

- ・「優しいオレンジ色」「黄色」
- ・次回全体会議でフォントや色合いを調整して提示したい

③ その他

- ・特になし

(2) 認知症ケアパス 別冊：社会資源集について

- ・次回会議までに、社会資源目次を掲示する

4 その他

(1) 第2回全体会議の開催について

日程：令和6年8月20日（火）19:00～（予定）

会場：桐生メディカルセンター（予定）

○次回開催について

第3回コア会議

日時：令和6年9月中旬（9/9～9/13で調整予定）

会場：桐生市総合福祉センター

文責：田村

桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト 会議参加者名簿

No.	氏名	所属	職種等	備考	第1回 全体会議	第1回 コア会議	第2回 コア会議	第3回 コア会議	第2回 全体会議
1	高橋 厚	桐生市医師会	副会長	副委員長	○				
2	前川 佳彰	桐生市医師会	理事	委員長	○				
3	峯岸 康大	桐生市地域包括支援センター菱風園	社会福祉士	コアメンバー	○	○	欠		
4	渡辺 幸恵	桐生市地域包括支援センター山育会	主任介護支援専門員 チームオレンヂチューター	コアメンバー	○	○	○		
5	梅澤 亜紀	みどり市地域包括支援センター東	保健師	コアメンバー	○	欠	欠		
6	大嶋 桂子	桐生市社会福祉協議会	生活支援コーディネーター	コアメンバー	○	○	○		
7	鈴木 美幸	みどり市社会福祉協議会	生活支援コーディネーター	コアメンバー	○	○	○		
8	櫻井 栄太	群馬県介護支援専門員協会 桐生・みどり支部	介護支援専門員	コアメンバー	○	○	○		
9	小沼 説雄	群馬県介護支援専門員協会 桐生・みどり支部	介護支援専門員	コアメンバー	欠	○	○		
10	武井 祐介	桐生厚生総合病院 地域医療連携室	医療ソーシャルワーカー		○				
11	山口 利佳	恵愛堂病院 地域医療連携室	医療ソーシャルワーカー		○				
12	阪下 潤一	認知症疾患医療センター日新病院	連携室長	コア会議オブ ザーバー	○	○	○		
13	橋本 綾子	桐生厚生総合病院	認知症看護認定看護師		○				
14	堀米あすか	東邦病院	認知症看護認定看護師		○				
15	松井 泰俊	特別養護老人ホーム菱風園	認知症介護指導者 チームオレンヂチューター	コア会議リ ダー	○	○	○		
16	中村 安孝	養護老人ホームサンロイヤル広沢	認知症介護指導者		○				
17	石塚 幸子	桐生市健康長寿課	保健師	コアメンバー	○	○	○		
18	鎗木 早苗	みどり市介護高齢課	保健師	コアメンバー	○	○	○		
19	小川 貴之	在宅医療介護連携センターきりゅう	管理者	事務局	○	○	○		
20	香取 麻里	在宅医療介護連携センターきりゅう	認知症地域支援推進員	事務局	○	○	○		
21	田村 伸子	在宅医療介護連携センターきりゅう	看護師	事務局	○	○	○		
22	大崎由美子	在宅医療介護連携センターきりゅう	事務員	事務局	-	-	-		
23	社協実習生		学生				○		

(敬称略)